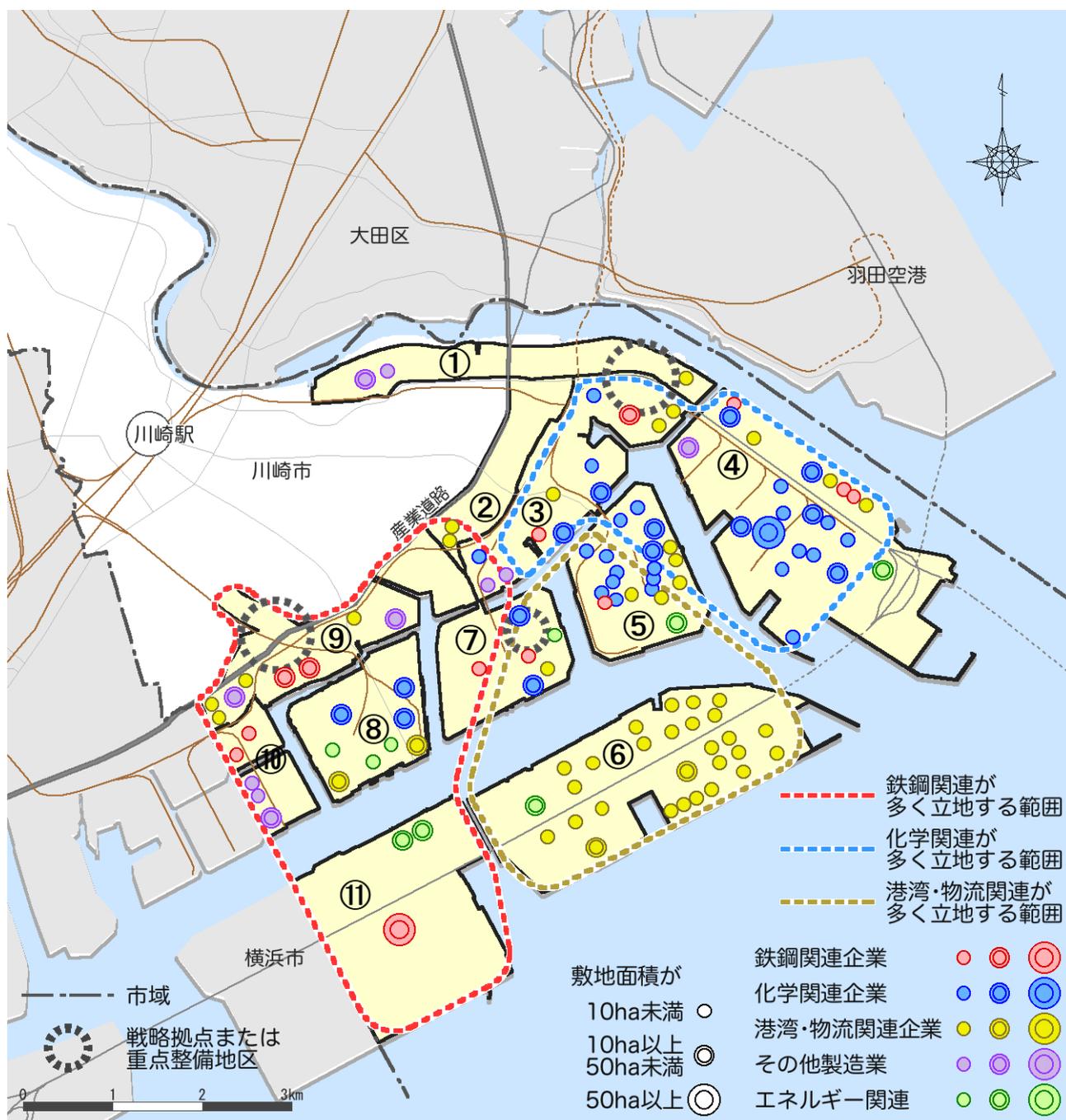


テーマ戦略

①産業の活性化

川崎臨海部では、鉄鋼、化学、その他の製造業、エネルギー、リサイクル、港湾・物流など、主に5つの産業機能・システムが展開しており、特に鉄鋼、化学、港湾・物流については、川崎臨海部の形成過程などから特徴的な立地特性を示している。

こうした立地特性や網目状にネットワーク化されたパイプライン等ユーティリティーの有効活用などを基本としながら、社会経済環境に対応した適切な機能更新・転換による既存産業の高度化・高付加価値化を推進する。



地球規模で人々の幸福に寄与する「環境技術、健康・福祉・医療」等の高度先端産業機能や先進的な研究開発機能・製造機能などの導入とともに、隣接する横浜市の研究機関や大田、品川区のものづくり産業などとの連携により、持続可能な産業地帯として形成を図る。

川崎臨海部の基盤技術を支える中小工場の操業環境の確保や、従業者向け生活利便施設の充実、コンパクトな工業地帯の利便性向上を図る。

①多摩川リバーサイド地区

羽田空港国際化を有効に活用し、殿町3丁目地区を川崎臨海部産業の高度化を先導する高度先端技術等の戦略拠点として整備

②塩浜西地区

中小工場の操業環境確保(土地利用転換する場合の適切な誘導)

③塩浜東地区

化学・金属工業の高効率化と研究開発機能の強化に向けた誘導
塩浜操車場の物流基地化に向けた整備検討

④浮島町地区

石油精製・化学の高効率化と研究開発機能の強化に向けた企業間連携の推進

⑤千鳥町地区

石油化学・エネルギーの高効率化・高付加価値化に向けた企業間連携の推進
市営ふ頭の再整備(効率的な物流機能の振興)

⑥東扇島地区

東京港・横浜港と連携した、高効率・高機能な物流拠点の形成

⑦水江町地区

先端技術の事業化に向けた先進的製造機能の導入

⑧扇町地区

製造、物流、エネルギー、リサイクル等の複合産業地区としての整備

⑨浜川崎駅周辺・浅野町地区

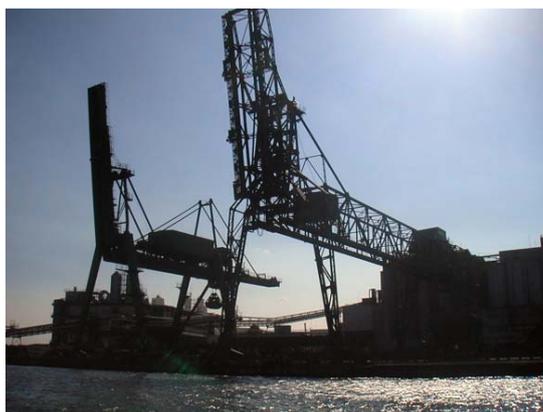
浜川崎駅周辺地区の整備
THINK での研究開発機能の誘致
コンテンツ産業等の導入

⑩白石・大川地区

コンパクトな工業地帯としての魅力アップ

⑪扇島地区

製鉄所の高効率化・高付加価値化に向けた誘導



テーマ戦略

②交通環境

川崎臨海部の価値の増進と活力の創出に向けて、臨海部の総合的な交通ネットワークの形成を図る。

東扇島地区においては、港湾貨物の円滑な輸送、交通渋滞の緩和、環境負荷の軽減を図るため、臨港道路東扇島水江町線の整備に向けた取組を促進する。

羽田空港の再拡張・国際化の効果を川崎臨海部全体に波及させるため、羽田連絡道路の整備に向けた取組を推進する。



さらに、産業道路の交通の分散と沿道の環境改善に向け、高速湾岸線に交通誘導するロードプライシングの拡充や産業道路のバイパスとしての臨海部幹線道路の整備を検討する。

また、全般的な生産活動の活発化やリサイクル、物流といった新しい土地利用による交通負荷に対して、道路利用者間の調整等を図る。

臨海部全体の交通アクセスの向上に向けて、既存の鉄道網の活用やバスネットワークの拡充を図る。

① 多摩川リバーサイド地区

殿町3丁目地区への交通アクセスの改善
(バスターミナルの整備、バス路線の整備)
国道409号線の表面整備

② 塩浜西地区

産業道路の交通環境の改善
大師線連続立体交差事業の推進
鉄道駅に近接したバスターミナルの整備、バス路線の整備

③ 塩浜東地区

殿町夜光線の沿道及び各交差点の整備

④ 浮島町地区

企業連携によるバス等交通利便性の向上

⑤ 千鳥町地区

川崎駅東扇島線沿道の整備

⑥ 東扇島地区

放置車両対策等による円滑で安全な交通の確保
バス等の交通利便性の向上

⑦ 水江町地区

臨港道路東扇島水江町線の整備促進
交通負荷の増大に配慮した土地利用誘導

⑧ 扇町地区

道路利用者間の連絡体制の強化・利用調整
交通負荷の増大に配慮した土地利用誘導

⑨ 浜川崎駅周辺・浅野町地区

南武支線の利便性向上に向けた取組 バスターミナルの充実
産業道路主要交差点における交通環境の改善

⑩ 白石・大川地区

駐車場の整備による交通環境の改善
自転車及び歩行者の安全確保のための環境整備

⑪ 扇島地区

立地企業間の連携強化による交通環境の改善、路線バス運行の検討

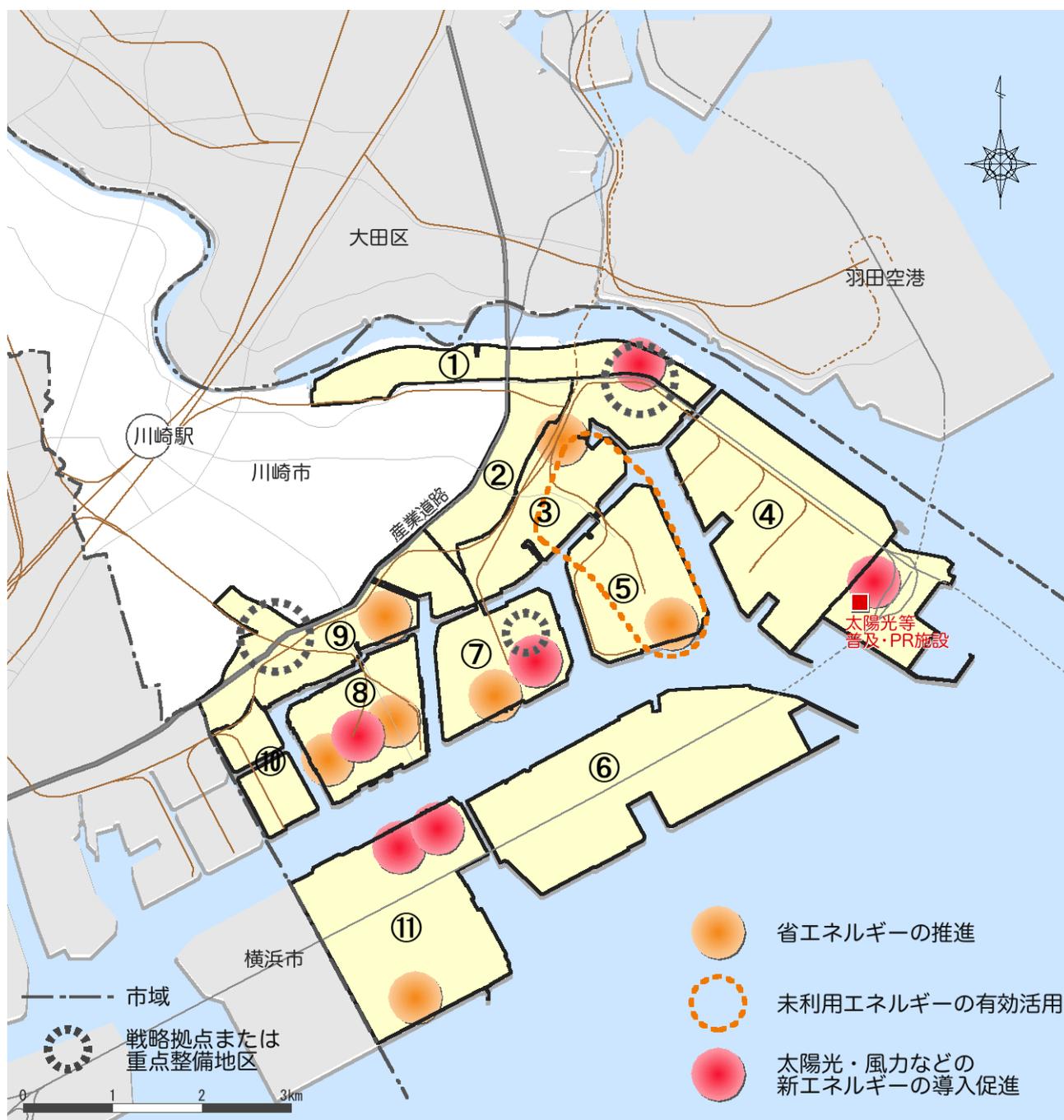


テーマ戦略

③地球環境・エネルギー

「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略」に基づき川崎の特徴と強みを活かした環境対策の推進、環境技術による国際貢献の推進、多様な主体の協働による地球温暖化対策などに取り組む。

省エネルギーの推進、未利用エネルギーの有効活用、太陽光・風力などの新エネルギー開発などの地球環境・エネルギー・水利用、水処理問題について、臨海部の各地区、各企業により先進的な取組を推進するとともに、必要に応じ連携した取組を進める。



石油精製や石油化学、鉄鋼、化学など様々な素材・エネルギー産業が立地していることを活かし、生産活動の効率化や資源・エネルギーの有効活用に繋がる企業間連携の取組を推進する。

① 多摩川リバーサイド地区

環境技術の情報発信拠点における新エネルギー・省エネルギー事業の展開

② 塩浜西地区

アイドリングストップなどの展開によるエコドライブの推進

③ 塩浜東地区

貨物鉄道網を活かしたモーダルシフトの検討
未利用エネルギーの有効活用
(火力発電所の蒸気を周辺事業所に供給)

④ 浮島町地区

新エネルギーの導入促進と普及・PR(太陽光発電の新システムーメガワットソーラーの整備と普及・PR 施設の設置)

⑤ 千鳥町地区

未利用エネルギーの有効活用
(火力発電所の蒸気を周辺事業所に供給)

⑥ 東扇島地区

施設の更新と連携した省エネルギーの推進

⑦ 水江町地区

新エネルギーの導入促進 省エネルギーの推進
未利用エネルギーの有効活用 蓄電システムの開発・製造促進

⑧ 扇町地区

新エネルギーの導入促進(天然ガス、バイオマス発電所)

⑨ 浜川崎駅周辺・浅野町地区

廃棄物の有効活用などによる省エネルギーの推進

⑩ 白石・大川地区

新技術の活用による省エネルギーの推進

⑪ 扇島地区

環境面で世界最先端に位置する製鉄所情報の発信
(新型シャフト炉の建設)
新エネルギーの導入促進 風力発電設備の整備

